

おかしを買ったら合計が382円でした。今、手元には500円玉が

1枚、100円玉が4枚、10円玉が3枚、1円玉が4枚あります。このと

き、次の条件にあう支払い方を考えましょう。ただし、おつりは渡す

枚数が最も少なくなるように出すとします。

Q1. もらうおつりの枚数が最も少なくなるようにする支払い方

Q2. 支払う硬貨ともらうおつりの合計枚数が最も少なくなる支払い方



A1. <sup>えんだま</sup>100円玉<sup>まい</sup>4枚、<sup>えんだま</sup>10円玉<sup>まい</sup>3枚、<sup>えんだま</sup>1円玉<sup>まい</sup>2枚<sup>しはら</sup>で支払うと

$432 - 382 = 50$ なので<sup>えんだま</sup>50円玉<sup>まい</sup>1枚がおつりでかえってきます。

これが、<sup>いちばん</sup>一番おつりの<sup>まいすう</sup>枚数が<sup>すく</sup>少ないときです。



A2. <sup>えんだま</sup>500円玉<sup>まい</sup>1枚、<sup>えんだま</sup>1円玉<sup>まい</sup>2枚<sup>しはら</sup>で支払うと

$502 - 382 = 120$ なので<sup>えんだま</sup>100円玉<sup>まい</sup>1枚、<sup>えんだま</sup>10円玉<sup>まい</sup>2枚がおつりです。この

とき、やりとりした<sup>こうか</sup>硬貨の<sup>まいすう</sup>枚数は

$1 + 2 + 1 + 2 = 6$ 枚<sup>まい</sup>で<sup>もっと</sup>最も<sup>すく</sup>少ないです。

